

【歳入予算の特徴】

平成28年度の予算を見ると、町税や繰入金等の自主財源が全体の55.9パーセント、国庫・県支出金、地方交付税等の依存財源が44.1パーセントとなっています。

自主財源においては、前年度予算に比べ約11億100万円の増となっています。増額の理由として、防災集団移転事業に伴う町有地売却の件数の増加により、財産収入が4億9,600万円の増額となったこと、及び、国からの復興交付金によって積み立てた復興交付金基金からの繰入金が、今年度ピークを迎える災害公営住宅整備事業等の復興事業のため大幅な増額となり、繰入金全体で約9億7,800万円の増額となったことが挙げられます。

一方、依存財源においては、前年度予算に比べ約24億4,800万円の増となっています。これは、漁港施設災害復旧事業に伴う国庫支出金の増額や、災害公営住宅整備事業や庁舎建設事業に係る町債の増額等によるものです。

地方交付税については、全体の18.9パーセントを占めており、前年度と比較すると、10億8,900万円の減を見込んでいます。これは、普通交付税において、平成27年国勢調査人口の適用や、合併に伴う特例の縮減に伴い、前年度より5,000万円の減額となっていること、及び、東日本大震災に係る復旧・復興事業等の実施のための特別な財政需要等を考慮して交付される「震災復興特別交付税」が10億7,900万円減の69億9,000万円を見込んでいることによるものです。

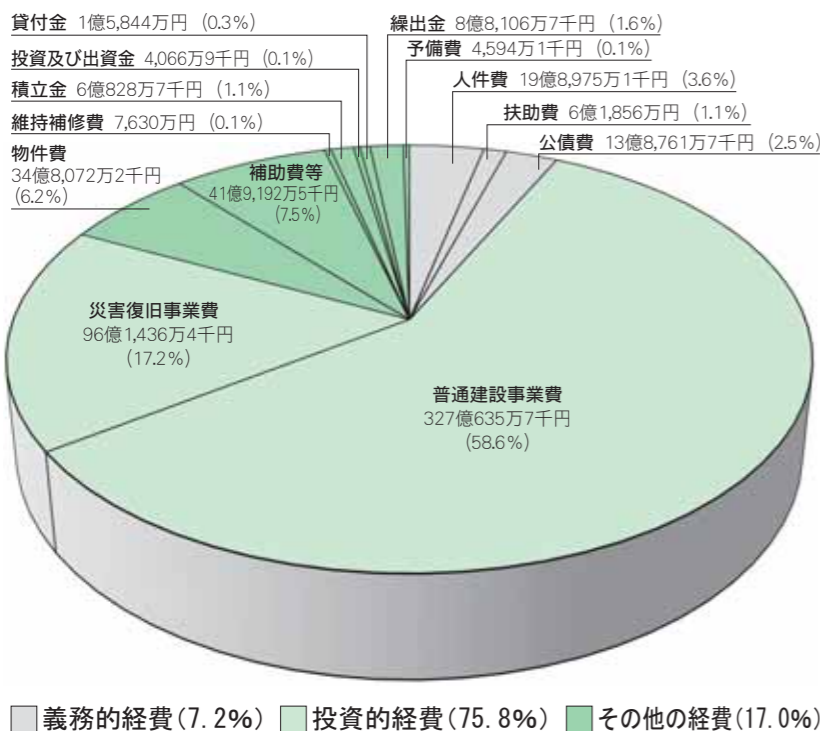
【歳出予算の特徴】

歳出は、目的別経費と性質別経費のふたつの面からその特徴を見ることができます。

目的別経費は、歳出をその行政目的によって議会費、総務費、民生費など予算や決算を款及び項という区分を基準として分類したもので、災害復旧費（災害によって生じた被害の復旧に要する経費）、土木費（道路や橋等の新設や修繕に要する経費）等が増加しています。災害復旧費は、前年度に引き続き漁港施設災害復旧事業が継続して行われていることや、道路災害復旧事業の増加、そして庁舎災害復旧事業において今年度から本格的に建設工事が始動することから、事業費が増額しています。他に土木費は、町道台帳の作成事業や、町道の新設改良に伴う工事費や用地購入費によって増額しています。

性質別経費は、歳出を経済的性質によって人件費、物件費、公債費など、予算や決算の節という区分を基準として分類したものです。また、経費を義務的経費、投資的経費、その他経費に分類することによって、財政の健全性、弾力性を測定することができます。平成28年度予算の特徴として、災害復旧事業費及び公債費が大幅に増加しています。この理由として、公債費については、過去に借りた合併特例債や公営住宅建設事業債等の元金償還が今年度から始まることに伴う増額であり、災害復旧事業については、目的別経費の増加と同様に、災害公営住宅整備事業等の復興事業による増額となっています。

性質別経費



歳出

目的別経費

| 区分 | H28予算額 | 構成比 |
|--------|---------------|--------|
| 議会費 | 1億1,574万9千円 | 0.2% |
| 総務費 | 26億1,148万円 | 4.7% |
| 民生費 | 22億64万3千円 | 3.9% |
| 衛生費 | 10億7,631万5千円 | 1.9% |
| 農林水産業費 | 12億4,494万7千円 | 2.2% |
| 商工費 | 4億1,413万7千円 | 0.7% |
| 土木費 | 8億8,156万7千円 | 1.6% |
| 消防費 | 4億7,431万5千円 | 0.9% |
| 教育費 | 9億8,318万3千円 | 1.8% |
| 災害復旧費 | 96億1,436万4千円 | 17.2% |
| 公債費 | 13億8,761万7千円 | 2.5% |
| 復興費 | 347億4,974万2千円 | 62.3% |
| 予備費 | 4,594万1千円 | 0.1% |
| 計 | 558億円 | 100.0% |

義務的経費（支出が義務付けられ任意に削減できない経費）
 人件費…職員等の給与、議員及び各種委員会委員の報酬の経費
 扶助費…社会保障制度の一環として現金や物品などを支給する経費（主なもの、児童手当、乳幼児・老人・障がい者の医療費助成です）
 公債費…町が借り入れた町債（借金）の返済に要する経費
投資的経費（道路、漁港、学校などの整備に充てられる経費）
 普通建設事業費…道路や公共施設の新増築などに要する経費
その他経費
 物件費…委託料、旅費、賃金などの消費的な経費
 補助費等…各種団体等に対して支出される負担金や補助金
 積立金…特定の目的のために設けられた基金などに積立する経費
 その他…維持補修費、投資及び出資金、貸付金、繰入金、予備費

災害復旧事業費…地震等の自然災害などで被害を受けた施設等を復旧させるための経費

「復興期」から「発展期」の新たなステージへ

平成28年度 一般会計予算総額は **558億円**

そのうち復旧・復興関連予算は約 **481億3千万円**

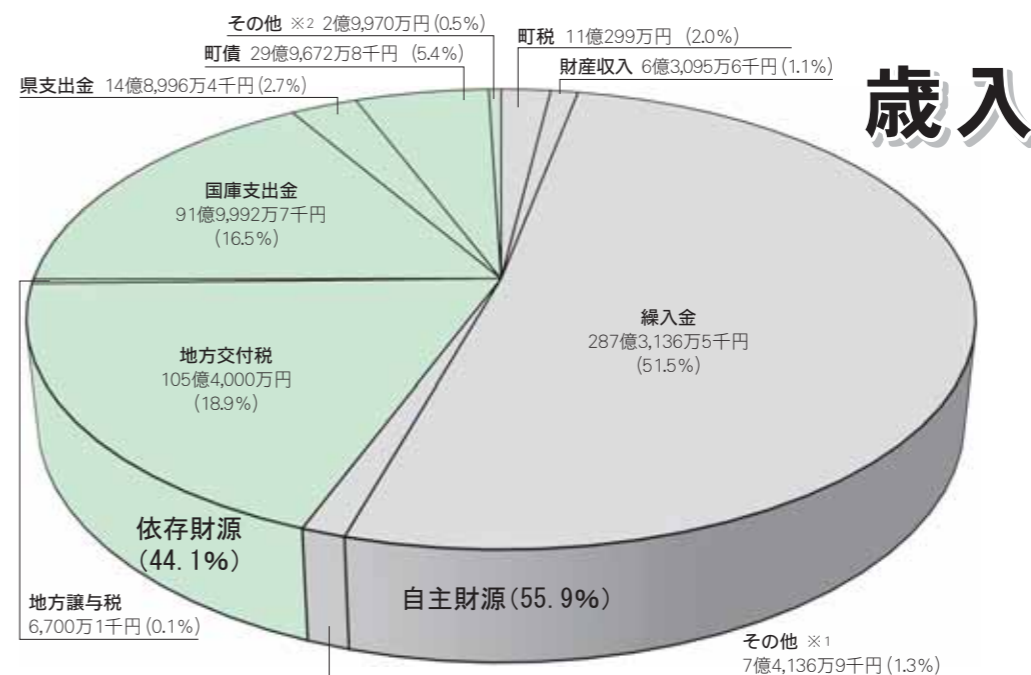
【予算編成のための基本方針】

平成28年度の予算において、今年度は町政策の最上位計画である「第2次総合計画」の初年度であり、復興のステージが「復興期」から「発展期」へと新たに進展することから、被災者の「生活再建・住宅再建」を一層加速させながら、加えて「地方創生」に向けた事業展開を集中的かつ積極的に進めていく年度となっております。引き続き復興事業を本格的に展開するため重点配分による「選択と集中」の取り組みを継続しつつ、将来にわたり持続可能なまちづくりが図れるよう、不断かつ徹底した歳出の見直しのもと財政の健全化に資することを基本として編成したものです。

【一般会計予算】

平成28年度一般会計予算は、3月定例会に提案し、原案のとおり可決されました。歳入歳出がそれぞれ558億円となります。平成27年度当初予算と比べ約6.8パーセントの増となっています。

これは、国の復興交付金を財源として実施している「災害公営住宅整備事業」において、今年度町内全ての計画団地が完成予定であることによるものです。このため、復興関連予算が依然として大きく、予算全体の約86パーセントを占める状況となっています。



※1…分担金及び負担金、使用料及び手数料、寄附金、繰越金、諸収入
 ※2…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金、地方特例交付金

自主財源（町が自主的に確保し、使途の決定も自主的にできる財源）
 町税…町民税や固定資産税等、町が収納しているお金
 財産収入…町が有する財産を処分・貸付によって得たお金や、基金（預金）の利息によって生じたお金
 繰入金…基金の取り崩しによって得られるお金や、他の会計から現金を移動させて得られるお金
その他
 分担金及び負担金…町の事業により特に利益を受ける方から、費用の一部を負担していただくお金（主なもの、保育料です。）
 使用料及び手数料…公共施設を利用した方、特定の行政サービスを受けた方から負担していただくお金（主なもの、町営住宅使用料や住民票発行手数料です。）
 寄附金…住民の方などから無償でいただいたお金
 繰越金…前年度の決算により余ったお金を、次の年度の財源として繰り越されたお金

諸収入…他の収入科目にも当てはまらない収入（主なものは、預金利子・給食費です。）
依存財源（国や県等の基準に基づいて得られる財源）
 地方交付税…国が国税を一定基準で地方に交付する税で、すべての地方自治体が標準的な行政を行えるように交付するお金（普通交付税と特別交付税の2種類があります。）
 地方譲与税…国が税金として徴収した自動車重量税、地方揮発油税を一定の基準によって地方自治体に譲与するお金
 国庫(県)支出金…国(県)が特定の事務・事業に対して交付(負担金・補助金等)するお金
 町債…道路・漁港・学校建設など、一時的に多額の費用がかかる事業を実施するために、町が長期にわたり借入れるお金
 その他…利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・地方特例交付金・地方消費税交付金・自動車取得税交付金・交通安全対策特別交付金は、国の税金や県の税金を、各交付金として一定基準により地方に交付するお金

平成28年度

南三陸町の予算